峰のひかり

発行人
社会福祉法人 七峰会
理事長 奥田 稔

〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町 21-8
電話 (0172)33-8861
FAX (0172)33-8862

身体障害者授産施設 旭光園

新しいお鍋（蒸煮缶）で さらに美味しい納豆を!!

旭光園では、平成20年4月から食品加工作業に取り組み始めました。それが納豆製造作業です。

猿賀納豆「福福」について「峰のひかり」や「きょっこうえんだより」の紙面で何度かご紹介してきました。その効果か「福福」は美味しいと口コミで広がり、徐々にお得意様が増えてきました。

納豆製造は、国産大豆を使用し、手づくりしています。大豆を洗い、24時間水に浸し、業務用の圧力鍋で大豆を蒸します。当初より納豆製造のアドバイスをいただいていた方から、「とてもいいお鍋がある。」との話を聞いていましたが、ボイラー設備を伴い高額なものでした。このお鍋は、品質の微妙なバラつきが改善されるとの事で、より一層の品質の向上と安定を目指すためにも欲しい器具でした。

検討中の折、『財団法人中央競馬馬主社会福祉財団』による助成金事業の紹介を受け早速申請をしたところ、設備費用の一部が助成され、この度念願の新しいお鍋が納豆作業室へ設置されました。今まで大豆を蒸す際、業務用の圧力鍋3個で製造していましたが、均一な品質にするために大変な苦労がありました。新しいお鍋は、一度に20キログラムを一定の蒸気で蒸し上げるため、品質の安定した納豆を製造することができます。

新商品の納豆は粘り気も増し、ふっくらで軟らかく、艶があり、今までの納豆よりもさらに美味しくなりました。新しく生まれ変わった猿賀納豆「福福」をぜひご賞味ください。

障害者支援施設 山郷館グループ

基本に返り、介護サービスの充実を

『食べること』。生きていくうえで絶対必要なことであり、楽しみでもあります。このもっとも基本的な行為ができなくなったら…。

今、施設では、加齢とともに障がいが進行し、食べ物を噛む、飲み込むことがうまくできなくなったり、むせ込んだりして、肺炎を引き起こす事例が増えています。肺炎を繰り返すうちに口から食べる事が出来ず、鼻腔や胃へチューブで流動食を補給しなければならない方もおります。反対に時間をかけて取り組んだ結果、口から食事ができるようになった方もおります。山郷館では、このような利用者の基本に係る介護上の取り組みをもう一度見直しをして、現状を悪化させない、一歩でも向上させていくことを23年度の目標としました。具体的には、きざみ食を止めて食べやすいソフト食への取組みや口から食べることができない方への食べることへの摂食訓練をさらに進めていきます。

「おいしく、食べる楽しみを健康へつなげ」を介護目標の一つとして取り組んで参ります。

※入所時、気管切開し、胃ろう（胃からのチューブによる栄養補給）状態であった男子Aさん（52歳）は、いろいろな摂食訓練を経て、今では何でも食べることができる状態まで回復しました。

特別養護老人ホーム サンアップルグループ

人材育成が大きな鍵

桜の便りも日を追うごとに北上し、間もなく弘前も桜に抱かれることでしょう。春の訪れとともに、サンアップルグループの新年度がスタートしました。

サンアップルホームでは基本理念として

① 心温かな人たちに囲まれてくらすことの幸せ

② 生活に心配なくくらせることの幸せ

③ 長寿で生きがいのあることの幸せ

の高齢になった時の3つの幸せを掲げています。

また、福祉サービスの基本姿勢として①尊厳の保持・回復②自立支援③高品質な介護サービスを掲げ、お一人おひとりを大切にする個別ケアを基本としたユニットケアで実践し、成果を上げる努力をしています。

これらを実現するためには、職員一人ひとりが、社会常識を持ち、原理原則を知り、人間性を高め、真の仕事の出来る人間にならなければなりません。サンアップルグループでは、「新任者研修（1年目）」「非常勤職員研修」「中堅職員研修（2年目以上）」「リーダー研修（業務リーダー以上）」等の階層別内部研修を行うなど、人材育成にも力を入れています。よりよいサービスを提供するには、人間性豊かな人材が多くいる事とチーム力です。

今年もフレッシュな新人さんが、サンアップルグループの仲間入りをしましたが、魅力ある仕事、魅力ある職場づくりを、一緒に頑張っていきましょう。

障害者支援施設 山郷館くろいし

気軽に外へ出かけよう

山郷館くろいしは今年で開設6年目を迎えます。平成22年12月1日に新体系へ移行し、新たな制度で歩みはじめました。名称は障害者支援施設山郷館くろいしになりました。日中は「生活介護」夜間は「施設入所支援」の事業になりました。今年度は、より充実したサービスを提供できるよう施設の増築を予定しています。

山郷館くろいしではこれまで『生き生きと楽しみのある生活を送っていただく』ために利用者の皆さんと一緒に考え取り組んできました。そのひとつに外出支援があります。毎年実施している利用者皆様への満足度調査で「外に出かける機会が少ない、普通に買い物に行きたい」との声が多く聞かれました。介護上職員の付き添いがなければ外出できない方が多いため外出を日中活動のプログラムの中に組み込みました。週2回交代で職員と一対一で出かけます。外出先は利用者ご自身が決めます。

近くのスーパーマーケットでおやつを買ったり、身のまわりの雑貨を選んだり、回転寿司やハンバーガー等のファストフードを楽しんだり、道の駅までドライブとさまざまバラエティーに富んでいます。行き先にはブームがあるらしく回転寿司と牛丼の食事はしばらく続いていました。

今年も外出支援への要望も出ており、楽しみにしている事が伺えます。

今後も、利用者ご自身が生活のスタイルを創っていくことを、共に考え支援して行きます。

障害者支援施設 拓光園

平成23年度の事業について

拓光園グループは、児童デイサービス事業、短期入所事業及び共同生活介護事業については既に自立支援法に移行し、これまで事業を実施してきましたが、まだ事業移行していなかった「知的障害者更生施設　拓光園」についても、平成23年4月に移行し現在に至っています。

具体的には、入所更生施設が「施設入所支援」と「生活介護」の事業を行う「障害者支援施設　拓光園」に（各事業定員90名）、また通所更生は通所型の生活介護事業を行う「拓光園生活介護事業所」に（定員24名）それぞれ移行し、事業を進めています。

ご家族に対しては保護者研修会を開催し、移行についての説明をさせていただき、混乱なく平成23年4月を迎えられるよう、その準備を行ないました。

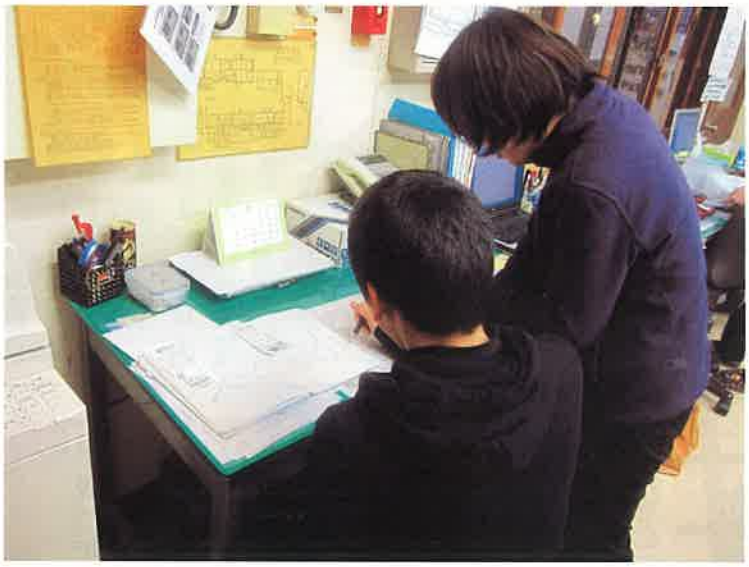
園周辺の雪もだいぶ溶け、園外作業も本格的にスタートしました。また、利用者、ご家族の皆さんが楽しみにしている弘前城さくらまつり見学を皮切りに、多くの外出行事が今後予定されています。日中活動(作業)、余暇支援のより一層の充実を目指し、取り組んでいきたいと考えています。

更には、通所型事業利用者の増員の他に、秋頃の完成を目指してケアホーム建設を計画し、進めており、地域支援の充実にも力を注いでいきたいと考えています。

「制度がどのように変わろうとも、利用される皆さん一人ひとりの幸せにつなげる支援を継続する」という基本的な考え方は、何ら変わることはありません。何か、お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので、ご相談ください。

拓心館グループ
金銭管理について

拓心館グループの通勤寮・グループホームを利用している皆さんは、今までは週末・月末に『拓心館』の事務室に行けば小遣いを受け取ることが出来ると考え、支援者も定型業務として小遣いを準備していました。しかし、自立支援、地域生活という観点から、日常生活で出来ることの幅を広げるため、自身で金銭管理が出来るよう取り組んでいます。



平日、仕事が休みの利用者の方は、自身で銀行に行き小遣いの払戻しが出来るよう、払戻伝票への氏名・口座番号の記載と捺印の仕方を練習した結果、今では、自分の小遣いは自身で払い戻す事が出来るようになり定着しています。

また、週単位で小遣いを受け取っていた方へ、次のステップである月単位での小遣いの管理が出来るよう、小遣い帳による金銭管理を個々の能力に応じ一緒に取り組んでいます。小遣いの中からシャンプーなどの日用消耗品を優先的に購入し、残金で平日と週末に使える金額を具体的に提示することにより、月単位で小遣いを受け取り、計画的に金銭管理ができるようになった方が増えました。

グループホームで生活しているAさんは、毎週、家から離れたところにある銀行へ、小遣いを払戻しに行っていましたが、いつの間にか銀行の窓口でキャッシュカードを作り、近くのATMで払戻しが出来るようになりました。しばらくの間は、支援員が定期的に通帳残高の確認をする必要がありますが、自立に向けた良い事例ではないでしょうか。

拓心館グループでは、個々の日常生活のスキルに応じた金銭管理を支援するとともに、収入に合わせた金銭管理を何より身につけて欲しいと考え支援していきます。

居宅介護支援事業

山郷館居宅介護支援センター
☎(97)2941

サンアップル居宅介護支援センター
☎(97)2131

高齢者介護事業

特別養護老人ホーム
サンアップルホーム ☎(97)2111
サンアップル短期入所生活介護センター
サンアップルホームデイサービスセンター
サンアップルヘルパーセンター
認知症グループホームアップル ☎(95)3758
認知症デイサービスセンターじょい ☎(97)2778
認知症デイサービスセンターじょい ☎(97)2013

サポートセンターわかば ☎(37)1165
認知症グループホームわかば
デイサービスセンターわかば

サンアップル在宅介護支援センター ☎(97)2131

住宅型有料老人ホーム『わかば』 ☎(32)1888

障害者支援事業

主に身体

障害者支援施設 **山郷館** ☎(97)2211
山郷館身体障害者(児)短期入所事業所
山郷館デイサービスセンター
山郷館デイサービスセンター弘前
山郷館地域活動支援センターくれよん
山郷館訪問介護センター
山郷館訪問介護センター黒石 ☎(88)6080
山郷館「パレット」(福祉ホーム)

障害者支援施設 **山郷館くろいし** ☎(53)3070
身体障害者授産施設 **旭光園** ☎(57)5155
通所他障害利用事業
旭光園身体障害者短期入所事業所
福祉ホームさわら

主に知的

障害者支援施設 **拓光園** ☎(95)2331
施設入所支援 生活介護事業
拓光園生活介護事業所(通所型)
拓光園短期入所支援センター
拓光園障害児デイサービスセンター
拓光園日中一時支援事業所
拓光園共同生活介護事業所(2ケ所)

拓心館グループ ☎(82)4520
自立訓練事業(宿泊型自立訓練・生活訓練)
津軽生活支援センター(共同生活・介護・援助)
はぁと(児童デイサービス)
就労サポートひろさき(就労移行・就労継続B型事業)
勇心学園(就労訓練施設)
エイブル(生活介護・就労継続支援B型)

総合支援事業

青森県指定津軽障害者就業・生活支援センター ☎(82)4524

弘前市委託事業弘前市障害者生活支援センター ☎(31)2400

弘前市委託事業弘前市北部地域包括支援センター ☎(95)2100

黒石市委託事業山郷館総合支援センター黒石 ☎(88)5018